

# 小規模校の特性を生かした小中連携による教育活動の研究・実践

## 高梁北教育研究会

### 活動の目的

高梁北中学校区の小・中学校（高梁北中・川面小・中井小・宇治小）は、合同学習・授業の推進に取り組んでいる。その過程で、4校が同じテーマで研究を行うことにより、小学校同士、そして小・中学校の連携が深まると考えた。しかし、4校とも小規模校（宇治小と中井小は完全複式）であり、以下のような課題や強みがある。①子どもたちが小さな集団内での安定した生活に満足しがちである。それにより、新しい人間関係づくりや積極的なコミュニケーションが難しい傾向にある。また、学び合いによる思考力・表現力が育ちにくい。②中井小で行っているこの地域を代表する山田方谷についての学習を、小規模校の機動性を生かして、合同授業により深化する機会を作る。③子ども同士が切磋琢磨する経験も少なく、学び合いによる思考力・表現力が育ちにくい。このような課題克服と強みを生かした合同授業は、多様な価値観に触れ、互いが切磋琢磨する機会とすることができる。また、本中学校区の学校は同じテーマで授業実践を行い研究に取り組んできている。そこで、共通のテーマ（キャリア教育等）の視点を生かした授業を行うことで、合同授業は可能になると考える。

### 活動の内容及び経過

- 6月22日 宇治小、中井小合同校外学習 総社市備中国分寺など
- 6月23日 研究授業公開 第6学年 算数科「円の面積」
- 9月12日 研究授業公開 第2学年 算数科「たし算とひき算のひっ算(2)」
- 9月19日 校内研究授業公開 第4学年 算数科「面積」
- 10月17日 音楽歌唱・合唱指導(3・4年) 講師 中山法子先生
- 10月18日 校内研究授業公開 第5学年 算数科「面積」 13名参加
- 10月19日 中学校区3小学校合同授業実施
- 10月24日 音楽歌唱・合奏指導(3・4年) 講師 中山法子先生
- 10月26日 校内研究授業公開 第3学年算数科「1けたをかけるかけ算の筆算」
- 10月31日 小中合同授業 高梁北中学校で学区小学6年と中学2年参加
- 11月1日 校内研究授業公開 第1学年 算数科「ひきざん(2)」
- 11月6日 音楽歌唱指導(5・6年) 講師 中山法子先生
- 11月7日 音楽歌唱・合奏指導(3・4年) 講師 中山法子先生
- 11月10日 音楽歌唱指導(全校) 講師 中山法子先生
- 11月24日 校内研究授業公開 ひまわり学級2年算数科「たし算とひき算のひっ算(1)」
- 11月27日 3年総合「大豆はかせになろう」豆腐づくり 講師長寿会婦人部

### 活動の成果・効果

- 1 中学校区での合同研修(教材研究・公開授業など)を重ねることによって、教員自身がキャリア教育の視点を意識し始め、授業改善、学力向上の手立てを講じることができつつある。また、指導を進めていく中で、今児童生徒にどのような力を身に付けさせるべきかを明確にして指導に当たるようになった。
- 2 中学校区で作成した、9年間の年間指導計画をもとに、地域・児童の実



態を考慮した年間指導計画を作成した。教科・領域等の関連を意識しながら指導を進めることができ効果をあげることができた。

- 3 3小学校合同授業を通して、少人数では体験できないような活動や互いの考えを深め合う学習を行うことができた。それにより、コミュニケーション能力や課題対応能力などの育成につながった。さらに、複式を解消し、同学年の児童と話し合ったり、考えを聞いたりする経験ができ、人間関係形成能力の育成に役立った。また、合同授業は、27年度は1回であった。28年度は各学年で数回の合同授業の機会をもち、他校の友達の中で発言したり、積極的に関わろうとしたりする児童がみられた。小中学校合同授業では、小学6年生が中学校の授業を体験することにより、スムーズな中学校生活をスタートさせることにつながった。また、中学生が小学生に職場体験で学んだことや感想を分かりやすく説明したことで、中学生にとっても自己肯定感を高めることにつながった。さらに、合同授業を成立させるための準備をするに当たり、各学校間の教員同士で研修を深めることができた。

### 今後の課題と問題点

- 1 キャリア教育を意識しすぎたため、教科本来のねらいを達成できないこともあった。教科本来のねらいを児童生徒の実態に応じて達成させつつ、指導者がキャリア教育の視点を常にもっておくことが大切である。
- 2 本中学校区内は、郷土の偉人である山田方谷先生の縁の地であり、特にその学びを3小学校合同授業などで積み重ねてきたが、今後さらに地域の素材や強みを生かす取り組みを中学校区で共有し、継続していくことが必要である。
- 3 生活アンケートなどを実施しているが、最初から数値が高い項目が多く、すぐに有意な変化は見付けにくい。そのため、児童生徒の言動などから具体的な変容を見取りながら、継続的に生活アンケートを分析、検討していく必要がある。

- 代表者：荒木健 ●所在地：高梁市川面町
- TEL：0866-26-0011
- E-MAIL：takahashikitachu@sc.city.takahashi.okayama.jp
- URL：takahashikita.wixsite.com/home
- 設立年：2013年 ●メンバー数：40名